

## 2018 年度「海外文化研修」(旧:「海外英語研修プログラム in Canada」)の終了報告

2018年度の研修は、3月2日から29日までの約4週間にわたって行われました。22名の参加者が全員無事に研修を終え、単位(2単位)の認定を受けました。



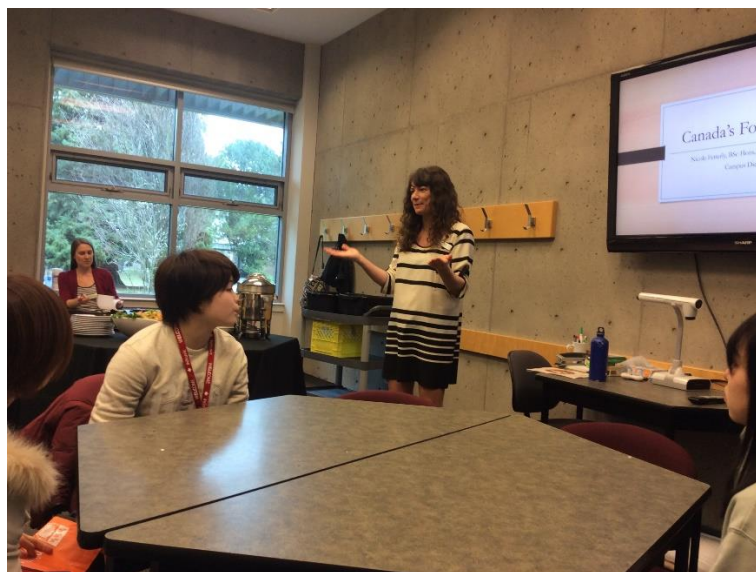
ヴィクトリア市内エクスカーションでの一コマ

ヴィクトリア大学英語学習センター(Uvic ELC)での英語学習とエクスカーションに加え、ヴィクトリア大学人文学部アジア環太平洋学科准教授のDr Hiroko Noroのご厚意により昨年度から実施している現地の学生との協働学習(collaborative learning classes)を行いました。協働学習の内容はヴィクトリア大学人文学部の学生と本学学生が、各グループで決めたテーマについて協働で探究してゆくというもので、授業時間外にもカフェやパブなどで熱く討論している学生の姿が印象的でした。ヴィクトリア大学の学生たちの高度な日本語運用能力にも皆が驚き、同じく外国語を学ぶものとして大いに刺激されました。



ヴィクトリア大学人文学部の学生との協働学習風景

今年度（2018年度）より新たに開設した「健康と栄養（Health and Science）コース」といオプションコースには、8名の学生が参加しました。このコースに参加した学生は、ヴィクトリア大学所属の医療、栄養、福祉の教育・研究と関わる専門教員による講義や、さらに大学構内の実験室や地域の高齢者施設への訪問を通じて、カナダの食品摂取ガイドライン（Food Guideline）のコンセプトやBC州の医療福祉制度、緩和ケア制度について学びました。



オプションコースの講義風景

「海外文化研修」の履修者は、一定の成績（GPA）や英語力（例えば、TOEICで400点など）の基準を満たせば、東洋大学国際教育センターの「チャレンジ型奨学金」や JASSO の給付型奨学金を受けることができ、留学の経済的負担を大幅に軽減できるチャンスにも恵まれています（2016年度～2018年度実績）。

また、これまで6期にわたる本研修プログラムへの参加者についていえば、帰国後に TOEIC のスコアが飛躍的に向上（平均点が約100点向上）するなど英語運用能力に顕著な変化がみられるほか、主に国立大学などの他大学や本学の大学院への進学者が多いなどの特徴がみられます。



帰国後の研修報告会の様子（2019年5月）

「海外文化研修」は本年度も引き続き募集を行います。チャレンジ精神に満ちた多くの方々の参加をお待ちします。

報告者 食環境科学部教授 五十嵐博久